



スマイル 天神

思いやりのある子・進んで学ぶ子
明るくたくましい子

天神小学校
学校だよりNo. 6
令和元年 5 月 17 日
発行者 蒲川法子



子どもが育つ魔法の言葉

「子どもが育つ魔法の言葉」という本に、「褒めてあげれば子どもは明るい子に育つ」という詩の一文があります。

子どもを褒めることは、親の大切な愛情表現の一つであると言われていています。子どもが成し遂げたことだけでなく、その子の意欲も褒めることで子どもの心の強い支えになります。さらにワンポイント付け加えることで子どもたちは自分のことが好きになるそうです。それは、スキンシップをとることです。

親とのスキンシップがたくさん必要な子もいればそうでない子もいます。手をつないだり、抱きしめてもらったりしないと落ち着かない子もいれば遠くから手を振るだけで満足する子もいるのです。その子がどんなタイプかによって接し方を変えなくてはなりません。言葉で褒めてもらうだけでは、足りない子には十分なスキンシップが必要です。

この詩には、ほかに「励ましてあげれば子どもは自信を持つようになる」「愛してあげれば子どもは、人を愛することを学ぶ」「認めてあげれば、子どもは自分が好きになる」「見つめてあげれば子どもは頑張り屋になる」「分かち合うことを教えれば子どもは思いやりを学ぶ」「親が正直であれば子どもは正直であることの大切さを知る」「子どもに公平であれば子どもは正義感のある子に育つ」・・・など、どれも頷ける内容の言葉が綴られています。子どもがよりよく育つ言葉をかけたり、行動したりする大人になりたいものです。

天神音頭 ～地域の方に学ぶ～

26日（日）の運動会で、全校で踊る天神音頭の練習をしました。年に1度運動会の時に全校で踊るのですが、振り付けを忘れてしまったり、新入生にとっては初めてだったりと練習が大切になります。今日は、地域のすみれ会の皆さんに来ていただいて、天神音頭の踊り方を教えていただきました。振り付けのこつをわかりやすく教えていただき、短時間でずいぶん上達しました。地域の方に学ぶ機会があり、子どもたちは幸せです。運動会本番でも練習の成果が発揮できることでしょう。地域の文化を引き継いでいってほしいものです。



放課後の過ごし方 ～安全に気をつけて～

曜日や学年によって下校時刻が異なりますので放課後の過ごし方もそれぞれだと思います。昨日地域の方より、「坂道（車道）でボールを使って遊んでいる子がいた。天神小の子どもではないかもしれないが、危ないと思ったので・・・」と親切に教えていただきました。交通事故にならず、幸いでした。学校でも安全指導は行っていますが、ご家庭でも危ない遊びをしていないか注意してください。